

雜 錄

目 次

大東亞戰爭日記摘要	547
新刊雜誌參考記事	547
業界雜報	548

四月中開催工業品規格統一調査會 委員會並に其の議題	551
------------------------------	-----

大東亞戰爭日記摘要

- 4月20日 東條内閣大改造を斷行す。
外相重光葵，内相安藤紀三郎，文相岡部長景，農相山崎達之輔，
國務相大原唯夫。
- 4月24日 大本營報道部課長平出大佐山口多聞司令官及び加來止
男艦長最後の模様を血を吐く放送をなす。
北支第24集團軍々長孫殿英我が猛攻に耐え兼ね投降。
- 5月6日 5月5日12時30分東條總理大臣比島軍狀軍政狀
況視察のためマニラに着した旨發表。
- 5月11日 チャーネル陸海兩専門家を帶同して又華府へ。
- 5月12日 有力な米軍部隊アリューシャン列島「アツツ」島に上
陸を開始。
- 5月18日 大本營發表に據ると北支唯一の蔣直系軍として河南，
山西省境に抗戦を繼續して居つた第24集團軍々長上將龐炳勳は
その部下7萬餘（孫殿英軍を含む）を率ゐる國民政府に合體し大東
亞新秩序建設に邁進することゝなつた。
- 5月21日 午後3時大本營發表 聯合艦隊司令長官山本五十六大
將本年4月前線に於て全般作戰指導中敵と交戦，飛行機上で壯烈
なる戦死を遂げた。後任海軍大將古賀峯一。
- 5月23日 帝國海軍航空部隊はアツツ島附近で敵巡洋艦1隻を撃
破，驅逐艦1隻を撃沈，他の1隻に火災を生ぜしめた。
帝國海軍潜水部隊は5月12日以後アリューシャン方面に行動中
の敵艦艇攻撃を續行，本日までに敵戦艦1隻巡洋艦1隻を大破
し，艦型未詳のもの2隻を中破した。

新刊雜誌參考記事主題

暖房換氣冷凍衛生 17の3 昭18-3	
マライ方面視察談	井關 正雄 109
空氣迴轉式放熱器	117
工場の洗面器	124
發明 14の4 昭18-4	
特許發明令等實施令公布に際して	2
電力變壓器	15
イオン交換性合成樹脂の宣傳	草間、節次 47
土木學會誌 29の4 昭18-4	
流砂に關する研究	永井莊七郎 343
工業國策 6の4 昭18-4	
必勝の生産増強	川上 嘉市 33
生産増強戰方略私案	賀田 直治 38
窯業製品の戰時規格に就て	永井彰一郎 50
理化學研究所彙報 22の1 昭18-1	

電解研磨の研究 (I)	高橋 昇 1
一酸化炭素-炭酸ガス系及空氣-アセトン系の熱傳導度	石川 總雄，八木 小虎 12
電子廻折に依る金屬腐蝕の研究	山口 成人 26
電弧熔接用自己燒鈍式被覆電極棒の研究 (I)	熊澤 尙文 59
鐵及鋼砒素分析方法に就て	關野幹次郎 71
市販の金屬ジルコニウム及びフエロジルコニウムの含む金屬狀ジ ルコニウムと化合物ジルコニウムとの定量法について	和田猪三郎，石井 頼三 112
Scientific Papers of the Institute of Physical and Chemical Research, 40 January, 1943.	
カーボン評論 10の2 昭18-4	
メタリツクカーボン (I)	佐々木武尙 17
電刷子に就て (XXIII)	24
機械技術 31の4 昭18-4	
ポンプ其他軸流型翼附近の流動，特に渦流， 逆流現象に就て(IV)	田伏 敬三 174
防空工場の基礎知識 (I)	若月喜三郎 187
工場の能力に關する二三の調査	中村 信之 192
鑛工滿洲 4の4 康10-4	
滿洲鑛産資源の重要性	佐藤 戈止 3
決戦下の技能者養成に就て	野村 譽則 15
工業現勢 11の11と12 昭17-11, 12	
九洲鑛山學會誌 昭18-3	
高松炭鑛第一堅坑開鑿に就て	村松 金藏 103
本邦ニツケル鑛床の型式とその特徴 (I)	木下 龜城 128
ペンマン著「通氣論」(I)	中村 正雄 138
クロム鑛鑛々床生成に關する一考察	152
アラスカの地質鑛産に關する文獻	153
工學と工業 11の2 昭18-2	
ドイツの航空工業に就て	辻 猛三
燃料協會誌 22の245 昭18-2	
石油コークス製造法に就て	大野忠雄，平野靜夫，太田文太 143
斷熱煉瓦：ベライト	191
鑄物 15の1 昭18-1	
燃料協會・日本鑄物協會共同コークス懇談會	1
特大型鑄鋼品の製造に就て	中西 寛人 7
熔滓制御による高級鑄驗	須藤 幸治 14
鑄物用コークスの比較試驗	青木 康造 21
マグネシウム合金の性質に及ぼす熔解過熱の影響	27

日本建築士 32の4 昭18-4
無窓工場記 柳瀬 駿 14

日本鑛業會誌 59の696 昭18-4
孔込の抵抗に關する實驗的研究 (I) 青山秀三郎, 下村彌太郎 153
深槽型空氣吹込式浮選機に就て 佐藤 信一
銅の質收と選鑛 高田 實 183
浮鑛劑に關する文獻集 三野 英彦 196
鹽素化油を使用せる浮選試驗 (1) 210
マゲデブルグ法に依る亞鉛電解液中に存在する不純物の影響に就て (I) 212
炭化カルシウムを還元劑とする金屬マグネシウム製造法の研究 213

日本化學會誌 64の3 昭18-3
X線分光法に依る微量のニッケル及びコバルトの定量 木村健二郎, 中村 雅雄, 田中 信行 349
液體膜の安定度 (II) 單一泡沫の存続時間に關する實驗 中川鶴太郎, 鮫島實三郎 360

海外經濟事情 18の5 昭18-5
佛印に於ける水力電氣 21

全ハガネ商聯盟會報 5の3 昭18-3
特殊鋼需給統制規則の解説 佐久間 亨 28

日本化學總覽 17の3 昭18-3

航空研究所報告 18-14 昭17-11
東北帝國大學選鑛製鍊研究所彙報 2の2 昭18-2
粉鐵のルツベ化に就て 濱住松二郎, 大平 五郎
同上 2の1 昭18-2

Bulletin of the Chemical Society of Japan, Vol. 18, No. 2, February, 1943.
Shigeto Yamaguti: Zur Forschung der Metallkorrosion mit Elektronenbeugung 53
Ibid. Vol. 18, No. 3, March, 1943.

三菱重工業會社名古屋發動機製作所研究報告 6の2 昭18-2
軸承用銅-鉛合金 (ケルメット) に於ける不純物としての鐵に就て 丹治 道生 1

大阪帝國大學理學部研究報告 (別刷集) 第三類化學, 9 昭16.
重酸素に依る亞硫酸瓦斯の接觸變化 中田 茂生
金屬膠質液の一製法 木村 修

工業獎勵 11 昭18-3
時局下に於ける職長の責務 (6) 松田竹太郎 1
將來の硬き試験機 佐々木一平 27

發送電 3の4 昭18-4
小倉發電所微粉炭機連絡管設置に依る出力増加に就て 吉井 嘉一, 中山 孝 8
内外線アルミ線工事見學記 江口 卓男 11

金屬 13の4 昭18-4
強腐蝕に依る特殊鋼の検査 錦織 清治 299
中性子線に依る金屬の研究 橋口 隆吉 251
金屬=オブの工業的用途 上林 慶喜 254
金屬材料の缺陷検査 尾崎秀次郎 257

東芝研究時報 18の4 昭18-4

綿ス・フ統制會報 1の3 昭18-4
勞働力の構造と勤勞管理の課題 三好豊太郎 27
戰時に於ける婦女子勞務 内野 五郎 35

資料公報 4の4 康10-4

軍事と技術 18の4 昭18-4
金屬と低溫 山田良之助 36

機械と材料 79の988 昭18-4
蒸氣の性質と高壓氣罐 石谷 清幹 170
ユニオンメルトの實驗 佐々木新太郎 178
材料試驗機漫録 (3) 齋藤 貞一 190

造船協會雜纂 251 昭18-2
ユニオンメルトの實驗 佐々木新太郎 35

東京工業大學學報 11の10 昭17-10
塊鑛爐の操業 松井元太郎 327

北 光 50 昭17-12
鋼塊鑛型の設計 益田 義三 48

土木試驗所報告 69 昭18-1

神 鋼 7の25 昭18-3
發生爐瓦斯中の硫黃の分析並にその鋼浴に及ぼす影響に就て 3
鍛造用磷青銅の鑄造に就て 25

日立評論 26の4 昭18-4
アルミ巻線變壓器 作田正治, 首藤 清 173
鋼索の強度に就いて 安河内春雄 207
硬質クロム厚鍍金作業の標準化 小池 貞藏 223
鑄鋼用肌砂の剝落 松田 哲男, 清水 三男 227
高速度鋼の燒入能力に及ぼす冷却速度の影響 小柴 定雄 232

業 界 雜 報

制度經營の改善

耐火煉瓦等の圓滑なる需給を計る爲に需給協會が設置された 東毎 0412
鐵鋼統制會では目下重點産業への鋼材配給の圓滑化を計る爲、現在の鋼鐵販賣機構の改革を決定、着々その準備を進めてゐる。東朝、0422
農林省では今回 50 萬圓の豫算を以て、木炭發生爐裝置に補助金を交附する事になつた 日産 0416
帝國鑛發では、日本産金合併により金鑛業局を設け今後の産金事務を取扱ふことになつた 日産 0501
大東亞資源の高度活用を計る爲に商工省内に東亞資源活用協會を設置した 東毎 0506
滿州石炭協會々長に前滿鐵理事撫順炭礦長 久保孚氏が就任した 日産 0507
逓信省では五大産業の電力確保の爲需用區分表を近く改正する事になつた 日産 0425 東朝 0504
鐵鋼統制會では 鐵鋼配給の緊急體制を整備する爲配給機構並に業刷新要鋼が漸く成案を得たので商工省の認可を受けた後 實施することになつた 日産 0416
鐵鋼統制會では、特殊鋼増産にあたり、一聯の對策として砂鐵の増産による特殊鋼原料、原鐵の積極的増産を意圖し鑛山統制會と連絡協議をして具體的實施を圖る事になつた。日産 0502
鐵鋼製品工聯では大阪に關西支部を設立する事に決定した。日産